

科目名 (科目番号)	基礎理学療法学 演習 (064712)	教員名 鈴木康文 深谷隆史	学科等	理学療法	選択	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割参照		単位数	1
			オフィスアワー		火5	A305研究室(鈴木)	
授業概要	理学療法の対象となる疾患等の病態ならびに、それらに対する理学療法の実際を紹介し、理学療法学を学ぶことへの興味・関心を高める。さらに、理学療法を行なう上で必要な対人関係能力、基本的態度とマナーについて学ぶ。また、理学療法学を学ぶ上で基礎となる運動学について、基本的な知識(運動器の機能解剖、身体運動の力学)の習得を図る。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	理学療法を行なう上で必要な対人関係能力、基本的態度とマナー	到達目標:対人関係職としての基本的な態度とマナーについて理解する。(鈴木) 学習内容:コミュニケーション技法(基本態度、共感的理解、傾聴)について学ぶ。				
	2	理学療法を行なう上で必要な対人関係能力、基本的態度とマナー	到達目標:対人関係職としての基本的な態度とマナーについて理解する。(鈴木) 学習内容:コミュニケーション技法を用い、医療面接を体験する。				
	3	疾患の病態、ならびに理学療法の実際	到達目標:医療施設における理学療法について理解を深める(筑波メディカルセンター病院 峯岸先生)。 学習内容:医療施設における理学療法の実際についての説明を聞く。				
	4	疾患の病態、ならびに理学療法の実際	到達目標:介護施設や在宅における理学療法について理解を深める(ケアセンター八潮 山辺先生)。 学習内容:介護施設や在宅における理学療法の実際についての説明を聞く。				
	5	疾患の病態、ならびに理学療法の実際	到達目標:スポーツ現場における理学療法について理解を深める(松戸整形外科クリニック 亀山先生)。 学習内容:スポーツ現場における理学療法の実際についての説明を聞く。				
	6	身体運動の基礎	到達目標:身体構造の位置と方向、運動の面と軸について理解する。(鈴木) 学習内容:身体的位置変化の特徴について学ぶ。				
	7	身体運動の力学	到達目標:力の合成と分解、テコ、重心についての考え方を理解する。(鈴木) 学習内容:身体運動の解釈に必要な力学の基礎知識を学ぶ。				
	8	身体運動の力学	到達目標:床反力、関節モーメント、パワーについての考え方を理解する。(深谷) 学習内容:身体運動の解釈に必要な力学の基礎知識を学ぶ。				
	9	身体運動の力学	到達目標:床反力、関節モーメント、パワーについての考え方を理解する。(深谷) 学習内容:身体運動の解釈に必要な力学の基礎知識を学ぶ。				
	10	運動器の機能解剖 (肩部と上腕部)	到達目標:肩部と上腕部の構造と運動を理解する。(鈴木) 学習内容:上肢帯と上肢の運動について学ぶ。				
	11	運動器の機能解剖 (前腕部と手部)	到達目標:前腕部と手部の構造と運動を理解する。(鈴木) 学習内容:上肢帯と上肢の運動について学ぶ。				
	12	運動器の機能解剖 (脊柱と胸部)	到達目標:脊柱と胸部の構造と運動を理解する。(鈴木) 学習内容:体幹の運動について学ぶ。				
	13	運動器の機能解剖 (頭部と頸部)	到達目標:頭部と頸部の構造と運動を理解する。(鈴木) 学習内容:頭頸部の運動について学ぶ。				
	14	運動器の機能解剖 (骨盤部と大腿部)	到達目標:骨盤部と大腿部の構造と運動を理解する。(鈴木) 学習内容:下肢帯と下肢の運動について学ぶ。				
15	運動器の機能解剖 (下腿部と足部)	到達目標:下腿部と足部の構造と運動を理解する。(鈴木) 学習内容:下肢帯と下肢の運動について学ぶ。					
成績評価の方法・基準	期末試験100%(映像問題+選択式問題)により成績評価を行う。						
教科書	ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖 ボディ・ナビゲーション 書いて覚える身体解剖ノート PT・OTゼロからの物理学		Andrew Biel Andrew Biel 望月久 棚橋信雄		医道の日本社(解剖学実習) 医道の日本社(解剖学実習) 羊土社		
参考図書							
教員からのメッセージ	1年次のこの時期に、この授業をしっかりと聞いて、理学療法学を学ぶことへの興味・関心を高めて下さい。						